

第119回経営協議会議事録

日 時 令和3年2月15日（月）10時～12時20分

場 所 第一会議室

出席者 (学外委員)

大家委員、門脇委員、川上委員、小間委員、鈴木委員、長友委員、端山委員、望月委員、森口委員

(学内委員)

田野学長、小花理事、阿部理事、植村理事、三浦理事、西野研究科長、西岡学域長

(オブザーバー)

小池副学長、村松副学長、山口副学長、坂本副学長、吉海監事、名取監事

議 題

議事録報告承認

第118回経営協議会議事録報告承認

(資料①-1)

審議事項

1. 国立大学法人ガバナンス・コードへの対応について (資料②-1～3)
2. 令和3年度予算編成方針等について (資料③-1～6)
3. 余裕金の運用に係るリスク管理体制の強化及び文部科学大臣の認定に係る申請について (資料④-1～5)

報告事項

1. 給与法改正等に伴う本学職員給与規程等の改正について (資料⑤-1～3)
2. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について (資料⑥)
3. 第4期中期目標期間に向けた検討について (資料⑦)
4. 危機対策本部からの報告について (資料⑧)

議 題

議事録報告承認 第118回経営協議会議事録

田野学長より、第118回経営協議会議事録（案）について説明があり、これを承認した。

審議事項 1 国立大学法人ガバナンス・コードへの対応について

三浦理事から、国立大学法人ガバナンス・コードへの本学の対応について、前回（第118回）会議及び会議以後に経営協議会及び監事からいただいたご意見を反映するとともに報告書を公表する旨の説明があり、これを了承した。

出された主な意見は次のとおり。

- (学外委員) ガバナンス・コードの見直しについては、1年に1回のタイミングだけではなく、もう少し短い間隔で見直しを行ったほうが良い。
- (学内委員) 報告書公表のための確認は、1年に1回だが、役員打合せやD.C.&I.戦略推進会議等の定期的に行う会議でフォローしていく。
- (学外委員) ダイバーシティについて、世間の関心が高まっている。今後、様々な対応が求められるだろうが、柔軟に対応していく必要があるだろう。
- (学外委員) ダイバーシティで言えば、女性の他にも外国籍の人材の活用も必要であることと、ダイバーシティを目的化するのではなく、インクルージョンをしっかりとすることも大事。また、ガバナンスという観点では、研究倫理やセキュリティに関して、如何にガバナンスを効かせていくかは非常に重要。
- (学外委員) 理工系の大学でダイバーシティの確保は難しいことではあるが、非常に重要な観点。しっかりと取り組んでいただきたい。
- (学内委員) ダイバーシティについては次期の科学技術基本計画にも目標として掲げられることもある。インクルージョンでいうと、コミュニケーションをしっかりと取らないといけないと考えている。学生や教員の多様性など、女性や外国籍も含め総合的にダイバーシティを確保してコミュニケーションをとる施策を行っていく。加えて、研究倫理やセキュリティという観点についても、体制を整備しつつしっかりと取り組んでいく。

審議事項 2 令和3年度予算編成方針等について

三浦理事から、国立大学法人運営費交付金関連の令和3年度政府予算案の本学への内示について報告があった。

また、令和3年度予算編成方針に関する改正案について説明があり、これを了承した。出された主な意見は次のとおり。

- (学外委員) 自己収入比率が低いが、法人運営の観点で自由度が制約される状況にあると危惧している。今後、自己収入をどのように拡大していくかの目標設定はあるのか。
- (学内委員) 自己収入のうちの間接経費収入については、共同研究や寄附金を増やそうという目標を立てている。
- (学内委員) 特に、ここ数年は、研究大学の仕組みの中でのURAの活用によって共同研究や受託研究の額が着実に伸びている。加えて、今後は、社会人に対するエクステンションプログラムも重点的に取り組んでいく。本学の得意分野であるAIやデータ関連の人材育成に対する企業側のニーズは非常に高く、確実に伸びる分野であると認識している。その他にも、ネーミングライツ制度なども活用して、1.5倍程度を目標にしている。
- (学外委員) 各年度の予算編成方針を議論する大前提として、まずは中期的に収入構造をどのように変えていくのか、その目標の妥当性から議論をすることが必要。その上で、目標に向かう過程としての各年度の予算編成について議論をしないと、意味のある議論にならない。
- (学外委員) いくつか良い評価となっているのは素晴らしい。一方、KPIによる絶対評価の結果として、専任教員のうちの外国人教員の割合の評価が下がっている。外国人の研究者を増やすことは研究大学としてプラスの面が大きいと考えるが、今後どのような戦略をお考えか。
- (学内委員) 今年度については目標を達成できている。各部局から出てくる人事提案について、ダ

イバーシティ枠を作り、多様性を確保しやすいようにしている。

(学外委員) 全体の収入を増やすためには、OB会の活用は有効な手段と考えている。一部の私学と比べて国立大学はあまり活用出来ていないのが実情なのではないか。特に電気通信大学は、様々な方面に多くの優秀なOBを輩出しているだけに、もっと活用できるのではないか。また、大学に対する思いが強まるかどうかは、やはりその大学で過ごした4年間ないし6年間への満足度によるところが大きい。教育内容だけに留まらず、課外活動も含めての対応になり非常に時間がかかるものではあるが、しっかりと取り組む必要がある。また、同窓会に関しては、例えば、都道府県単位や業界単位での活動の活性化も有効ではないか。

(学内委員) 本学のOB会である目黒会には学生の就職支援をはじめ、最近ではコロナ募金にも多額の寄付といただく等、多方面から支援していただいている。引き続きしっかりと連携していきたいし、学生が在学中から愛校心を育ていけるよう、学内広報等にも積極的に取り組みたい。

(学外委員) ご指摘のとおり、卒業生の数に対し、目黒会の会費を支払っている人数は少なく、寄附も同様。大学に対する思い入れを高めてもらうために有効な手段の検討から担当の副学長と一緒に取り組んでいるところ。

(学外委員) 目黒会はしっかりと取り組んでいただいていると認識している。大学が同窓会とも一体となって、自大学への誇りを高めるための取組みを全学的に推進していくことが大事。

審議事項 3 余裕金の運用に係るリスク管理体制の強化及び文部科学大臣の認定に係る申請について

三浦理事から、本学における資金運用は「資金管理運用要項」に基づき実施されているが、本要項においては、運用の方法、運用の評価等について明文化されていないことから、規程上の整備を行い、新たに審議機関として資金運用管理委員会を設置し、リスク管理体制の強化を図る旨の説明があり、これを了承した。

出された主な意見は次のとおり。

(学外委員) いつから運用されるのか。

(学内委員) 文部科学省の認定を受けたら可及的速やかに資金運用計画を作るということを考えている。

報告事項 1 三鷹労働基準監督署による是正勧告について

三浦理事から、三鷹労働基準監督署からの是正勧告の詳細及び内容等について報告があり、その是正勧告等に対する対応策についても報告があった。

(オブザーバー) 本件の問題点は二つ。是正勧告を受けたという事実と、その報告が監事にきちんと行われていなかったこと。ガバナンスの強化という観点で、監事が十分に職務を遂行するためにも、情報の共有は必要不可欠。

(学内委員) 監事への報告の必要性・意義も含め全教職員に徹底する。

報告事項 2 令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

阿部理事から、令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について、報告があった。

(学外委員) 海外におけるアンバサダー制度については、ぜひ、目黒会の海外支部と連携をした交流活動を推進できないかと考えている。

(学内委員) 協力をお願いしたい。

報告事項 3 第4期中期目標期間に向けた検討について

三浦理事から、第4期中期目標、中期計画の策定方法やスケジュールについて報告があった。

報告事項 2 危機対策本部からの報告について

田野学長から、危機対策本部（新型コロナウイルス感染症対応）で前回の経営協議会以降に審議、決定した内容について報告があった。

[配付資料]

①. 第118回経営協議会議事録

②-1. 国立大学法人ガバナンス・コードについて

②-2. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（案）

②-3. 国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況について

③-1. 令和3年度国立大学法人運営費交付金予定額一覧

③-2. 重点支援に係る評価結果を踏まえた本学が重点的に対応すべき指標について

③-3. 令和3年度予算編成方針（案）※溶け込み版

③-4. 令和3年度予算編成方針（案）※見え消し版

③-5. 間接経費等の活用方針（案）※溶け込み版

③-6. 間接経費等の活用方針（案）※見え消し版

④-1. 余裕金の運用に係るリスク管理体制の強化及び文部科学大臣の認定に係る申請について
（概要）

（参考資料1）国立大学法人法第34条の3における業務上の余裕金の運用に係る文部科学大臣の認定基準等について

（参考資料2）電気通信大学における資金運用のプロセスについて

④-2. 国立大学法人電気通信大学会計規則の一部改正（文部科学省への提出案）

④-3. 国立大学法人電気通信大学資金管理規程（文部科学省への提出案）

④-4. 国立大学法人電気通信大学余裕金運用細則（文部科学省への提出案）

④-5. 電気通信大学資金運用管理委員会要項（文部科学省への提出案）

（参考資料1）国立大学法人電気通信大学資金管理運用要項（廃止）

⑤-1. 三鷹労働基準監督署による是正勧告について

（参考資料）局所排気装置について

⑤-2. 是正勧告の再発防止に向けた取組について

⑥. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

⑦. 第4期中期目標期間に向けた検討について

⑧. 危機対策本部からの報告について